

G H S 分類マニュアル

[H17.10.20 版]

目 次

第 1 部 序

1

[1 - 1] GHS分類マニュアルについて

[1 - 2] 分類作業フロー

第 2 部 物理化学的危険性

[2 - 1] 物理化学的危険性分類判定のために利用可能な情報源

(2 - 1 - 1) 物性データ集

(2 - 1 - 2) 物理化学的ハザードデータ集

(2 - 1 - 3) GHSの基準で分類・区分された資料

(2 - 1 - 4) 参考資料

[2 - 2] 物理化学的危険性の分類のための物理的、化学的状态
による対象項目

(2 - 2 - 0) 序

(2 - 2 - 1) ガス

(2 - 2 - 2) 液体

(2 - 2 - 3) 固体

(2 - 2 - 4) 化学構造による評価項目の選別

[2 - 3] 物理化学的危険性の分類・各論

(2 - 3 - 1) 火薬類

(2 - 3 - 2) 可燃性 / 引火性ガス

(2 - 3 - 3) 可燃性 / 引火性エアゾール

(2 - 3 - 4) 支燃性 / 酸化性ガス類

(2 - 3 - 5) 高压ガス

(2 - 3 - 6) 引火性液体

(2 - 3 - 7) 可燃性固体

(2 - 3 - 8) 自己反応性物質および混合物

(2 - 3 - 9) 自然発火性液体

(2 - 3 - 10) 自然発火性固体

(2 - 3 - 11) 自己発熱性物質および混合物

(2 - 3 - 12) 水反応可燃性物質および混合物

(2 - 3 - 13) 酸化性液体

(2 - 3 - 14) 酸化性固体

(2 - 3 - 15) 有機過酸化物

(2 - 3 - 16) 金属腐食性物質

第 3 部 健康に対する有害性

[3 - 1] 分類判定に利用可能な情報

[3 - 2] 健康有害性の分類

- (3 - 2 - 1) 急性毒性
- (3 - 2 - 2) 皮膚腐食性 / 刺激性
- (3 - 2 - 3) 眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性
- (3 - 2 - 4) 呼吸器または皮膚感作性
- (3 - 2 - 5) 生殖細胞変異原性
- (3 - 2 - 6) 発がん性
- (3 - 2 - 7) 生殖毒性
- (3 - 2 - 8 & 9) 特定標的臓器 / 全身毒性(単回暴露 / 反復暴露)
- (3 - 2 - 1 0) 吸引性呼吸器有害性

第4部 環境に対する有害性

[4 - 1] 環境有害性の分類

- (4 - 1 - 1)水生環境有害性

第 1 部 序

[1 - 1] GHS 分類マニュアルについて

本マニュアルは、GHS 国内実施に向けた基盤整備として国が実施する約 1500 物質の分類に際し、その作業に携わる分類実施者の手引きとして作成したものである。限られた時間内に限られたリソースで暫定的な作業を実施することを前提としたものであり、GHS に準拠した分類を行う場合に遵守すべき一般的な原則を示したものではない点に注意が必要である。

また、本マニュアルは、関係者の合意のもと、作業の実施状況・効率性等を踏まえ、合理的な理由から修正が加えられることがある。

[1 - 2] 分類作業フロー

図 1 に分類作業を進めていくためのフロー図を示す。